



平成24年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成23年9月30日

上場会社名 株式会社ポイント 上場取引所 東
 コード番号 2685 URL http://www.point.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 福田 三千男
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 松田 毅 (TEL) (03) 3243-6011
 管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成23年10月14日
 配当支払開始予定日 平成23年10月24日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年2月期第2四半期の連結業績 (平成23年3月1日～平成23年8月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年2月期第2四半期	52,550	10.5	4,677	△22.3	4,753	△22.2	2,395	△24.5
23年2月期第2四半期	47,551	8.7	6,019	△10.5	6,111	△9.9	3,173	△19.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年2月期第2四半期	100.82	—
23年2月期第2四半期	130.43	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年2月期第2四半期	58,516	38,061	64.6	1,591.69
23年2月期	62,089	37,330	59.8	1,561.71

(参考) 自己資本 24年2月期第2四半期 37,821百万円 23年2月期 37,109百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年2月期	—	50.00	—	70.00	120.00
24年2月期	—	50.00			
24年2月期(予想)			—	70.00	120.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成24年2月期の連結業績予想 (平成23年3月1日～平成24年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	116,000	9.5	14,000	△8.7	14,100	△9.1	7,500	△10.7	315.63

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】3ページ「2. その他の情報」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

- (4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年2月期2Q	24,400,000株	23年2月期	24,400,000株
② 期末自己株式数	24年2月期2Q	637,885株	23年2月期	637,885株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年2月期2Q	23,762,115株	23年2月期2Q	24,332,116株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

「参考」個別業績予想

平成24年2月期の個別業績予想（平成23年3月1日～平成24年2月29日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	112,000	8.5	13,400	△8.1	13,600	△8.6	7,200	△10.4	303.00

（注）当四半期における業績予想の修正有無：無

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	3
2. その他の情報.....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要.....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要.....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要.....	3
3. 四半期連結財務諸表.....	4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4
(2) 四半期連結損益計算書.....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記.....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	8
4. 補足情報.....	9
(1) 店舗業態・地域別出退店の状況.....	9
(2) ブランド・地域別売上高の状況.....	10
(3) 商品部門別売上高の状況.....	10

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成23年3月1日から平成23年8月31日まで)におけるわが国経済は、震災による供給面の制約がほぼ解消する中で、生産、輸出が概ね震災前の水準に復し、国内民間需要も持ち直しました。懸念された夏場の電力需給に付いては、節電努力により計画停電等の事態は回避されましたが、先行きの不透明感の高さ等から、個人消費は力強さを取り戻すには至らないまま推移しました。

当社グループの属するカジュアルウェア市場におきましては、震災による消費の落ち込みからは早めに回復しましたが、夏のセールが前倒しとなったことの影響等で、終盤はやや苦戦気味となりました。

このような環境のもと、国内既存店売上高は前年同期比96.4%となりましたが、連結売上高は、新店の寄与や海外の売上の増加等により前年同期比10.5%増となりました。

国内のブランド別の売上では、新しいブランドとしては「コレクトポイント」と「レピピアルマリオ」が、既存ブランドとしては「レイジブルー」と「ヘザー」が高い伸び率で進捗いたしました。

また、新規ブランドとして、「ナッシュダレック」を3月にスタートいたしました。

国内の店舗展開につきましては、引き続き積極的に出退店を行い、当第2四半期連結累計期間末時点での国内店舗数は、71店舗の出店、18店舗の退店等の結果、758店舗(内Eコマースサイト30店舗)となりました。

海外の店舗展開につきましては、台湾で1店舗の出店、2店舗の退店、香港で2店舗の出店、1店舗の退店、中国で1店舗の出店の結果、当第2四半期連結累計期間末時点での海外店舗数は、台湾21店舗、香港14店舗、中国7店舗の計42店舗となりました。

収益面では、震災の影響に対応した広範なセール展開の動きの結果、売上総利益率は58.7%(前年同期比1.2ポイント減)となりました。

販売費及び一般管理費は、積極的な店舗展開に伴う人件費の増加や広告宣伝の拡充による費用増を主因に、前年同期比16.6%増加したことから、販管費率は49.8%(前年同期比2.6ポイント増)、営業利益率は8.9%(前年同期比3.8ポイント減)となりました。

また、特別損失として、固定資産除却損1億5百万円、店舗の賃借契約解約に伴う損失1億42百万円、減損損失19百万円、震災による損失として4億39百万円など計7億6百万円を計上しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は525億50百万円(前年同期比10.5%増)、営業利益は46億77百万円(前年同期比22.3%減)、経常利益は47億53百万円(前年同期比22.2%減)、四半期純利益は23億95百万円(前年同期比24.5%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて、35億73百万円減少して585億16百万円となりました。これは主に、有価証券(コマーシャルペーパーと短期国債)が44億99百万円減少したこと等によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べて、43億3百万円減少して204億55百万円となりました。これは主に、買掛金が22億19百万円、未払法人税等が14億41百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べて、7億30百万円増加して、380億61百万円となりました。これは主に、株主資本が7億32百万円増加したこと等によるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて、47億35百万円減少して214億15百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、2億69百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が40億50百万円あった一方、売上債権が4億20百万円増加したこと、仕入債務が22億20百万円減少したこと及び法人税等の支払いが30億19百万円あったこと等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、33億40百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が28億75百万円あったこと等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、16億62百万円となりました。これは配当金の支払があったことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年6月30日に公表いたしました通期の連結業績予想を変更していません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 簡便な会計処理

一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。

経過勘定項目の算定方法

一部の経過勘定項目については、投資者等の利害関係者の判断を大きく誤らせない範囲で、簡便な方法を採用しております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

（表示方法の変更）

（四半期連結損益計算書関係）

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づく財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用により、当第2四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,929	13,164
売掛金	4,898	4,476
有価証券	8,498	12,997
商品	6,143	6,480
その他	1,530	1,497
貸倒引当金	△40	△37
流動資産合計	33,960	38,579
固定資産		
有形固定資産	9,763	8,677
無形固定資産	734	783
投資その他の資産		
敷金及び保証金	10,688	10,450
その他	3,736	3,962
貸倒引当金	△367	△364
投資その他の資産合計	14,057	14,048
固定資産合計	24,555	23,510
資産合計	58,516	62,089
負債の部		
流動負債		
買掛金	12,573	14,792
未払法人税等	1,738	3,179
賞与引当金	1,772	1,002
役員賞与引当金	136	—
その他	4,099	4,901
流動負債合計	20,319	23,877
固定負債		
引当金	101	818
その他	34	63
固定負債合計	135	881
負債合計	20,455	24,758

(単位:百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,660	2,660
資本剰余金	2,517	2,517
利益剰余金	34,933	34,201
自己株式	△2,241	△2,241
株主資本合計	37,870	37,138
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	106	121
繰延ヘッジ損益	△1	—
為替換算調整勘定	△153	△150
評価・換算差額等合計	△48	△28
新株予約権	46	46
少数株主持分	192	174
純資産合計	38,061	37,330
負債純資産合計	58,516	62,089

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)
売上高	47,551	52,550
売上原価	19,073	21,694
売上総利益	28,478	30,856
販売費及び一般管理費	22,458	26,178
営業利益	6,019	4,677
営業外収益		
受取配当金	28	28
その他	68	58
営業外収益合計	97	87
営業外費用		
コミットメントフィー	—	6
為替差損	3	1
その他	1	3
営業外費用合計	5	11
経常利益	6,111	4,753
特別利益		
貸倒引当金戻入額	2	4
特別利益合計	2	4
特別損失		
固定資産除却損	24	105
賃貸借契約解約損	163	142
減損損失	143	19
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	393	—
災害による損失	—	439
その他	8	—
特別損失合計	733	706
税金等調整前四半期純利益	5,380	4,050
法人税、住民税及び事業税	2,345	1,598
法人税等調整額	△154	37
法人税等合計	2,190	1,635
少数株主損益調整前四半期純利益	—	2,414
少数株主利益	15	18
四半期純利益	3,173	2,395

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,380	4,050
減価償却費	998	1,572
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	393	—
減損損失	143	19
災害損失	—	439
貸倒引当金の増減額（△は減少）	127	6
賞与引当金の増減額（△は減少）	△84	189
売上債権の増減額（△は増加）	△392	△420
たな卸資産の増減額（△は増加）	△987	329
仕入債務の増減額（△は減少）	△454	△2,220
未払金の増減額（△は減少）	△106	△348
未払消費税等の増減額（△は減少）	△326	40
その他	△168	28
小計	4,522	3,685
利息及び配当金の受取額	38	34
利息の支払額	△0	△0
災害損失の支払額	—	△431
法人税等の支払額	△3,198	△3,019
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,362	269
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	500	—
有形固定資産の取得による支出	△2,730	△2,875
無形固定資産の取得による支出	△228	△146
敷金及び保証金の差入による支出	△495	△658
敷金及び保証金の回収による収入	285	337
その他	15	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,653	△3,340
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△1,702	△1,662
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,702	△1,662
現金及び現金同等物に係る換算差額	△35	△1
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△3,029	△4,735
現金及び現金同等物の期首残高	26,200	26,151
現金及び現金同等物の四半期末残高	23,171	21,415

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 店舗業態・地域別出退店の状況

店舗業態・地域	店 舗 数					
	前連結 会計年度 末	当第2四半期連結累計期間中の異動				当第2四 半期連結 会計期間 末
		出 店	変 更	退 店	増 減	
レイジブルー	55	2	—	△1	1	56
ローリーズファーム	130	12	2	△2	12	142
グローバルワーク	162	9	—	—	9	171
ジーナシス	80	2	—	△1	1	81
ヘザー	69	5	—	△3	2	71
ハレ	31	4	—	△1	3	34
ナインブックス（注）2	21	2	—	△1	1	22
アパートバイローリーズ	32	3	△2	△4	△3	29
レブシムローリーズファーム	105	10	—	△2	8	113
レピピアルマリオ	8	6	—	—	6	14
ジュエリウム	5	4	—	△2	2	7
トゥールノジーナ	2	7	—	—	7	9
ナッシュダレック	—	5	—	—	5	5
コレクトポイント	6	—	△1	△1	△2	4
国 内 合 計	706	71	△1	△18	52	758
台湾	22	1	—	△2	△1	21
香港	13	2	—	△1	1	14
中国	6	1	—	—	1	7
海 外 合 計	41	4	—	△3	1	42
グループ 合計	747	75	△1	△21	53	800

- (注) 1. 複数ブランドを商品展開している店舗は、その店舗を運営しているブランドで集計しております。
2. ナインブックスには、ブランドアウトレットを含んでおります。
3. インメルカートは、レブシムローリーズファームに合算しております。
4. 店舗には、他社Eコマースサイト、自社Eコマースサイトを含んでおります。

(2) ブランド・地域別売上高の状況

ブランド・地域	期 間	当 第 2 四 半 期 連 結 累 計 期 間		前年同期比増減率(%)
		売上高(百万円)	構成比(%)	
レイジブルー		3,878	7.4	15.5
ローリーズファーム		11,254	21.4	2.5
グローバルワーク		12,783	24.3	11.1
ジーナシス		5,163	9.8	△4.7
ヘザー		3,865	7.4	12.8
ハレ		1,872	3.6	1.8
ナインブロックス (注) 1		2,910	5.5	20.9
アパートバイローリーズ		1,921	3.7	△1.5
レブシムローリーズファーム		5,732	10.9	7.6
レビピアルマリオ		614	1.2	453.1
ジュエリウム		237	0.4	—
トゥールノジーナ		152	0.3	—
ナッシュダレック		133	0.3	—
コレクトポイント		438	0.8	866.7
その他		8	0.0	—
国 内 合 計		50,969	97.0	9.9
台湾		574	1.1	44.9
香港		826	1.6	11.3
中国		180	0.3	394.6
海 外 合 計		1,581	3.0	34.5
グ ル ー プ 合 計		52,550	100.0	10.5

(注) 1. ナインブロックスには、ブランドアウトレットを含んでおります。

2. インメルカートは、レブシムローリーズファームに合算しております。

(3) 商品部門別売上高の状況

商品部門	期 間	当 第 2 四 半 期 連 結 累 計 期 間		前年同期比増減率(%)
		売上高(百万円)	構成比(%)	
メンズ(ボトムス・トップス)		9,328	17.7	17.8
レディース(ボトムス・トップス)		35,302	67.2	7.0
雑 貨 ・ そ の 他		7,918	15.1	19.6
合 計		52,550	100.0	10.5

(注) その他には、ポイント引当金繰入額等を含んでおります。